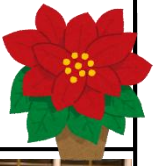


笑門来福



延岡市立東小 学校だより No.8

令和7年12月24日(水)



5年生 宿泊学習に行ってきました！

令和7年11月27日(木)、28日(金)に、5年生の宿泊学習が行われました。場所は「むかばき青少年自然の家」で、たくさんの体験をさせていただきました。

1日目は、行藤山の頂上までの登山があり、天気も景色も最高の日だったので、慣れない登山できつい思いをしながらも、子どもたちは多くの感動があったことと思います。夜は「キャンドルのつどい」で草川小学校との交流をしました。東小からは、運動会でも披露したソーラン節を発表しました。互いに心を通わせることができた素晴らしい時間となりました。その後、本校の北野先生による天体観測会が行われました。

2日目は、飯盒炊飯とカレー作りを体験しました。火おこしや飯盒でお米を炊くのは初めての経験の児童も多く、ワクワクしながら調理を楽しむことができました。自分たちで作った食事は、いつもに増して美味しく感じたことと思います。

これらの体験を通して子どもたちは、集団行動の規律、互いの思いやり、自然の素晴らしさなど多くのことを学び、大きく成長することができました。



もちつき



もちつき(5年生)を行いました。

12月12日(金)に、5年生がもちつき体験をしました。

子どもたちは、田んぼをご提供いただいている濱田さんご協力のもと、もち米を植える体験や稲刈りの体験をさせていただいております。また、長年の間、東小学校の「もちつき」に携わってくださっている寺田さんを中心とした地域の方々のご協力があり、今年も「もちつき」を行うことができました。

社会福祉協議会の方々や、区長さん、公民館長さん、民生委員・児童委員さん、その他の地域の方、保護者の方々など多くの方々もご協力してくださり、安全に楽しく実施することができました。心より感謝申し上げます。

子どもたちは、リズムよく声をかけ合い心から楽しみながら「もちつき」をしたり、友だちと笑顔でコミュニケーションをとりながら温かいもちを丸めたりする等、普段することができない貴重な体験をさせていただきました。

広がってほしいな「ごみひろいの輪」

子どもたちの通学路や休み明けの校内にゴミが落ちていることについて、なかなか改善されない状況が続いています。そんな中、ひまわり学級の子どもたちが、近隣公園のゴミ拾いをする活動をしてれています。また、何人かの子どもたちが通学途中や登校後に、通学路や校内のゴミを拾ってくれています。地域の方も朝の登校時間に、ゴミを拾ってくださる方もいらっしゃいます。

このゴミを拾うという素敵な心が、少しずつ子どもたちに広がっています。先日、6年生の男の子2名が、「校長先生、毎日、登校する時にゴミ拾いをすることにした。」と話しかけてくれました。「嬉しいなあ。その姿を見て他にも拾う人が増えてくると思うよ。」と返したところ、「俺たちって、影響力あるよね。」と少し照れくさそうでした。「すごく影響力あるよ。」と伝えたところで、この素敵な心が広がっていく未来を期待できた嬉しいひと時でした。



子どもたちが
拾ってくれたゴミ